

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浜松医科大学附属病院 医療機能強化棟	階数	地下1階/地上5階
建設地	静岡県浜松市東区半田山一丁目48	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2020年1月30日
敷地面積	234,637 m <sup>2</sup>	作成者	(株)横河建築設計事務所 和田 洋一
建築面積	1,453 m <sup>2</sup>	確認日	2020年1月30日
延床面積	6,206 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
医療機能強化棟と病院内でも中核をなす建物の為、耐震性・居住環境に配慮した計画としている。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・緊急性の高いNICUをやGCUを計画している中で、患者や職員の居住環境を確保できる計画としている。 ・開口部を極力設けることで室内環境の向上を図っている。	・地震が起こった際も、医療機関としての機能を維持できるように構造耐力を、基準の1.25倍としている。	・敷地内にある豊かな緑を可能な限り残し、敷地内の緑地面積を確保している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率機器の採用、LED照明の採用など省エネルギー性に配慮している。	・ODP=0の材料を使用するなど、環境に配慮している。 ・敷地内で発生した土砂や碎石等を再利用し、環境に配慮している。 ・省エネ型機器(擬音装置)の採用。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	浜松医科大学附属病院 医療機能強化棟	BEE	1.7	BEEランク	A	★★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.5	/5				ふつう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	4.2	/5				よい
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.6	/5				ふつう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.7	/5				がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目			
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。					
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点	3.5		
■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①冬期・夏期ともに快適な室温を維持可能な計画としている。	Q-1 2	2.1	2.1.2	① 外皮性能	
	Q-1 3	3.1	3.1.3	② 屋光利用設備	
		3.2	3.2.1	③ 屋光制御	
	Q-2 2	2.2	2.2.1	④ 躯体材料の耐用年数	
		2.2.2	2.2.2	④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔	
	2.2.3	2.2.3	④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
	2.2.4	2.2.4	④ 空調換気ダクトの更新必要間隔		
	2.2.5	2.2.5	④ 空調・給排水配管の更新必要間隔		
	2.2.6	2.2.6	④ 主要設備機器の更新必要間隔		
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内にある豊かな緑を可能な限り残し、敷地内の緑地面積を確保。	Q-3 1			⑤ 生物環境の保全と創出	
	3	3.2		⑥ 敷地内温熱環境の向上	
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。	LR-1 1			⑦ 建物外皮の熱負荷抑制	
	2			⑧ 自然エネルギー利用	
	3			⑨ 設備システムの高効率化	
	4	4.1		⑩ モニタリング	
		4.2		⑩ 運用管理体制	
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑬GWP=11の発泡剤を使用	LR-2 1	1.1		⑪ 節水	
		1.2	1.2.1	⑪ 雨水利用システム導入の有無	
			1.2.2	⑪ 雑排水等利用システム導入の有無	
	2	2.1	2.1.1	⑫ 材料使用量の削減	
		2.1.2	2.1.2	⑫ 既存建築躯体等の継続使用	
		2.1.3	2.1.3	⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用	
		2.1.4	2.1.4	⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
		2.1.5	2.1.5	⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
		2.1.6	2.1.6	⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み	
	3	3.1		⑬ 有害物質を含まない材料の使用	
		3.2	3.2.1	⑬ 消火剤	
		3.2.2	3.2.2	⑬ 断熱材	
		3.2.3	3.2.3	⑬ 冷媒	
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮燃焼機器の不採用。	LR-3 1			⑭ 地球温暖化への配慮	
	2	2.2		⑮ 温熱環境悪化の改善	
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		得点	4.2		
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰発電機設備・無停電電源装置の採用	Q-2 2	2.1	2.1.1	⑯ 耐震性	
			2.1.2	⑯ 免震・制振性能	
		2.4	2.4.1	⑰ 空調・換気設備	
		2.4.2	2.4.2	⑰ 給排水・衛生設備	
		2.4.3	2.4.3	⑰ 電気設備	
		2.4.4	2.4.4	⑰ 機械・配管支持方法	
		2.4.5	2.4.5	⑰ 通信・情報設備	
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点	3.6		
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱バリアフリー法誘導基準相当の計画とした。	Q-2 1	1.1	1.1.3	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画	
		3	3.1	3.1.1	⑲ 階高のゆとり
			3.1.2	⑲ 空間の形状・自由さ	
■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑地域性のある材料の使用。	Q-3 3	3.1		㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点	2.7		
■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上) ㉒周辺建物との色彩調和など考慮。	Q-3 1			⑳ 生物環境の保全と創出	
		2			㉒ まちなみ景観への配慮
		3	3.2		㉓ 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (㉔温熱環境悪化の改善) ㉔風下となる地域への風通しに配慮した形状とした。	LR-3 2	2.2		㉔ 温熱環境悪化の改善	